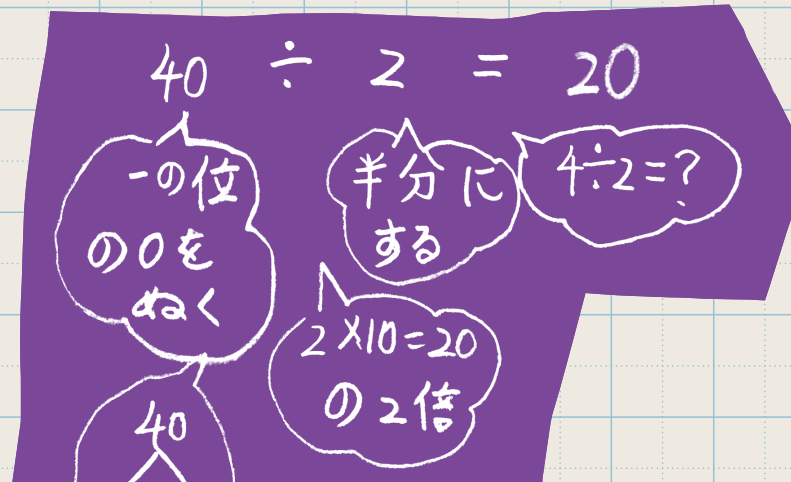
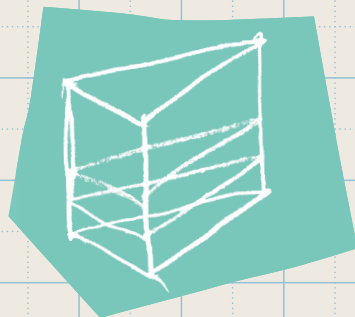
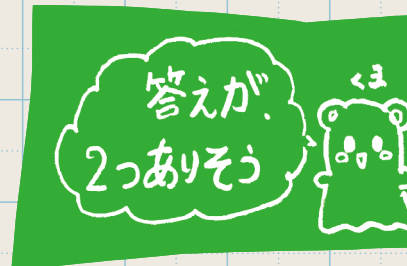


算数で、個育て。



算数で、個育て。

12×3の答えは、36のひとつだけ。

でも、逆に36になる式は？

と聞けば子どもたちの目の色が変わります。

6×6と胸を張る子もいれば、

(10+2)×3と得意気に答える子もいる。

分からない子に、分かる子が教えはじめる。

また別の子が、

「でも、4×10-4もあるよ」と違う視点をもたらす。

そうやって、子どもたちの力で

ひとつの問題を解いていくと、

クラスに新しい価値観が生まれます。

それらの経験はすべて、

社会で生きていくための基礎となるはずです。

知的好奇心を持つこと、

自分で考え行動すること、論理的に考えてみること、

さまざまな人と共生・共創すること。

これからに必要な個性を、算数をはじめとする、

すべての科目や体験活動を通して育てていく。

明星小学校の6年間ですごした時間はきっと、

人生を謳歌していくための力になる。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 + -
 12×3のやり方を考えよう。

自分の考え

10×3 = 30
 3×2 = 6
 30 + 6 = 36

図(1つ目) 図(2つ目)

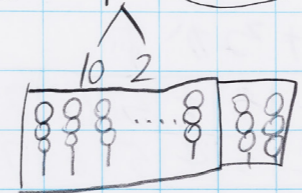
☆☆☆

↓
12こ
ある

☆☆☆☆☆☆
 ☆☆☆☆☆☆

↓
3こある!

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 + -
 しむらさん 12×3 = 12 + 12 + 12 = 36
 12×3 = 3×12 <くろりんは>



考え方の図

12の星☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

このセット3つある!

田中さん 大田さん

12×3のほかの分けかた

| | |
|------------|--------------|
| 12×3 66 | ○○○○○○○○○○○○ |
| 6×3=18 | ○○○○○○○○○○○○ |
| 6×3=18 | ○○○○○○○○○○○○ |
| | せいせいさん |
| | 9×4=36 |

ようこそ、チーム明星へ

明星小学校が大切にしているのは、子どもたちがこれからの時代を生き抜いていくために必要な「学ぶ力」と「豊かな心」を、日常の学校生活の中で、特に授業の中で育てていくことです。本校では、こうした力の基盤を「賢さ」と「豊かさ」という言葉で捉えています。

「賢さ」とは、単に知識として身につけるのではなく、学んだ知識を場に応じて働かせることができる、知恵として生きて働く力です。自ら問いを見つけ、考え、よりよいものを求めて追究し続ける力でもあります。「豊かさ」とは、他者の考えに耳を傾け、違いを受け入れながら、自分自身の考えを発信できる、共生・共創できる力です。

この「賢さ」と「豊かさ」を兼ね備えた、輝きをもった人を育成するために、本校では、問題の発見力・解決力・追究力の三つを、どの学習活動でも大切にしています。

これまでの学びは、教科書の問題を正しく解く「問題解決力」を中心に進められてきました。しかしこれからは、自分で問題を見つけ、試行錯誤しながら追いかけていく力が求められます。そのため、授業では、「なぜだろう」「別の考え方はないかな」と立ち止まり、対話を通して考えを深める場を数多く設けています。

子どもたちは、仲間と意見を交わしながら学ぶ中で、新しい視点に出会う面白さを実感していきます。試行錯誤の過程そのものを大切にすることで、学びに向かう姿勢が育まれていくのです。

学校とは、多くの人と出会い、一人では得られない学びを仲間とともに積み重ねていく場です。明星小学校は、学校と家庭、教員と子ども、保護者がつながる「チーム明星」として、共に学校を創っています。



明星小学校 校長 細水保宏



対象：全学年

対象：希望者[3-6年生]

対象：希望者[4-6年生]

夫したり、言葉を選んだりしながら説明し、説明を聞く側も自分の考えと比べながら理解を深めていきます。こうしたやり取りを重ね、集団としての理解を達成していくのが明星の算数です。協働的に授業を創っていく中で、学び方や集団での物事の進め方を学ぶとともに、仲間と学ぶ楽しさや、違いを受け入れる心といった、人としての豊かさも同時に育まれていきます。

く、「どう考えたのか」「別の見方はあるか」仲間と話し合いを進めることで、発想力や論理的思考力が自然と磨かれていきます。将来の算数オリンピック出場も目指します。夏に行われる「算数キャンプ」では、3～6年生の希望者を対象に北海道で2泊3日の算数合宿を行い、親子や地域の子もたちと交流しながら学びます。算数を通して世界が広がり、「もっと知りたい」という気持ちが芽生える経験を大切にしています。

もう一度試してみる。そうした試行錯誤の中で、知識は「覚えるもの」から「使えるもの」へと変わっていきます。年齢の近い大学生との関わりは、子どもたちにとって将来の学びを身近に感じる機会にもなります。理数の賢さと、仲間と協力する豊かさを育てながら、自分たちで探究していく学びを支えています。

特徴1

全員で創り上げる 算数授業

明星小学校の算数授業は、クラス全員で創り上げていく授業です。たとえ自分が理解できたとしても、それはクラス35人のうちの1/35でしかない、という考えを大切にしています。理解した子は、まだ理解していない友だちに、どうやったら理解してもらえるかを考えます。図を使ったり、式を工

特徴2

得意な算数をさらに伸ばす 講座&算数キャンプ

「算数が“もっと”好きになる講座」は、算数に強い関心を持つ子どもたちが、さらに学びを深める特別なプログラムです。長い間、算数オリンピックに関わり大会顧問でもいらっしゃる金廣志先生をお迎えし、少し難しい応用問題や、算数オリンピックの過去問題にも取り組みます。答えを急ぐのではな

特徴3

つくる、使う、しくみを知る。 大学教授によるプログラム

4～6年生の希望者を対象とした放課後プログラム「理数ワールド」では、体験を通して理数の面白さに出会います。明星大学の先生や学生と連携し、プログラミングによるものづくりや、数学・物理の考え方を使った実験や工作に取り組みます。自分の手で動かし、うまくいかなかった理由を考え、

覚えることや正解することよりも、
答えに辿り着くまでのプロセスを大切にしています。



明星小学校の理数教育は、答えを早く出す子ではなく、「なぜだろう」と立ち止まり、確かめながら考え続けられる子を育てます。うまくいかない経験も学びとして受け止め、仲間と知恵を出し合いながら理解を深める力を大切にしています。理数の学びを通して、学ぶことを楽しみ、自分の考えを未来へ広げられる子を育てます。2026年度からは、3～6年生の算数を1時間増やし、教科書にとらわれない算数の授業を行います。



対象：全学年

対象：3-6年生

対象：4-5年生

す。中学年では「読む力」、高学年では「書く力」へと、子どもたちの発達段階に合わせて学びを広げ、6年間を通して英語の4技能をバランスよく育てます。授業内で英検対策にも取り組み、受験ができる点も特長です。英語を「勉強」として構えるのではなく、自然に使えることばとして身につけていきます。

交流で世界に目を向け、4・5年生では英語ミュージカル「ハートグローバル」への参加など、学年ごとに少しずつ世界との距離を縮めていきます。また、外国人留学生との交流や、希望者対象のイングリッシュキャンプ、レシテーションコンテストなど、多様な実践の場を用意しています。英語を通して人とつながる経験が、子どもたちの自信と豊かな表現力を育てています。

生活に根づいた最先端都市で、子どもたちは「未来の暮らし」を身近に感じることができます。日本からの移動時間が比較的短く、小学生でも無理なく参加しやすい点も安心材料です。英語を使って世界を知り、自分の視野を広げる経験が、これからの学びへの意欲につながっていきます。

特徴1

1年生から週2時間の英語授業

英語教育は、昭和28年から続く長い実績を土台としています。1年生から6年生まで週2時間、無理のない時間配分の中で英語に触れる機会を確保しています。低学年から「聞く・話す力」を大切に、外国人講師と日本人教員によるチームティーチングで、安心して英語に親しめる授業を行っています。

特徴2

英語を実際に使う体験で伝えられた成功を重ねる

英語ミュージカル、体験型英語施設、レシテーションコンテストなど、教室で学んだ英語を実際に使う体験を大切にしています。3年生では体験型英語施設TGG(TOKYO GLOBAL GATEWAY)で1日英語活動を行い、「通じた」「伝えられた」という成功体験を重ねます。4年生では海外提携校との

特徴3

英語で異文化に触れる、海外留学体験プログラム

英語学習の集大成として、海外での体験学習にも取り組んでいます。2026年度は、中国・上海にある正達外国語学校での短期留学体験を計画しています。授業は英語で行われ、現地の児童との交流を通して、異なる文化や価値観に触れる機会となります。上海は、AI技術やスマート交通などが

低学年から自然に使えることばとして
英語を楽しみながら学び、世界を広げる。



明星小学校の英語教育は、昭和28年から続く歩みの中で、子どもたちの成長に寄り添って育まれてきました。低学年では聞く・話す力を大切に、中学年で読む力、高学年で書く力へと段階的に広げます。授業やTGG、交流活動、海外体験など、英語を使って人と関わる経験を重ねながら、自分の考えを伝え、世界とつながろうとする子を育てます。



対象：1・2年生

対象：3・4年生

対象：5・6年生

特徴1

“ふしぎ”に気づく
低学年理科

1・2年生の「くぬぎの時間」は、低学年理科として、子どもたちの身近な生活の中にある“ふしぎ”を大切に学びを行っています。ゴムや磁石の力を試したり、豆電球を使った簡単な実験をしたり、昆虫や植物を育てて観察したりと、五感を使った体験を重ね3年生から始まる理科学習の素地とな

る活動を経験します。授業の出発点は、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」という素朴な疑問です。実際に見て、触って、試す中で、「そうか!」という気づきを積み重ねていきます。少し難しい実験にも挑戦し、思うようにならない経験も大切にしながら、あきらめずに考え続ける姿勢を育てます。理科が好き、考えることが楽しいと感じる心を育む、探究の第一歩です。

特徴2

対話を通して学ぶ
クラス探究

低学年で育まれた「気づく・試す・確かめる」という学びの姿勢を土台に、3・4年生ではクラス全体でひとつのテーマに取り組む「クラス探究」を行います。ある年のテーマ『よく飛ぶ紙飛行機を考え、設計する』では、テーマに沿って調べたり、観察や実験、調査を行ったりし、それぞれの気づきや結

果をクラスに持ち寄りました。話し合いを重ねる中で、考えが深まり、新たな疑問が生まれることも少なくありません。自分ひとりの小さな疑問が、仲間との対話を通してクラス全体の学びへと広がっていく過程を経験します。友だちの視点に触れながら学ぶことで、物事を多角的に見る力や、協力して考える楽しさが育ちます。みんなで学びをつくり上げる喜びを実感できる時間です。

特徴3

テーマを選び深める
ゼミ(個人)探究

5・6年生では、学びはさらに一歩進み、自分自身の興味や関心を出発点としたテーマを設定し、「ゼミ探究」に取り組みます。資料の集め方や調べ方、仮説の立て方、確かめ方、成果のまとめ方、そして効果的なプレゼンテーションの方法まで、探究のプロセスを丁寧に学びます。問いに向き合い試

行錯誤を重ねる経験は、学ぶことへの自信につながります。成果を仲間と共有することで、学びはさらに広がり、主体的に学び続ける力と、自分の関心を社会へつなげていく姿勢が育っていきます。

探究テーマ例 ●どんな陳列方法なら、商品の売り上げが向上するか(販売ゼミ) ●小学生の姿勢を改善するために、どんなことができるだろうか(医療ゼミ) ●日本の神話と海外の神話に共通点はあるのか(国際ゼミ)

“ふしぎ”に気づきテーマを選ぶ。
仲間との実践、協働の中で個性を引き出す。



明星小学校の探究は、1・2年生の「くぬぎの時間」から始まります。身近なふしぎに気づき、試し、確かめる経験を重ね、3・4年生では「クラス探究」として仲間と学びを深めます。5・6年生では「ゼミ探究」へと発展し、自分の問いを追究する力を育てます。探究を通して、自ら学びに向かい、自分の関心を社会や未来へつなげていける子を育てます。



明星小学校での学び

明星の伝統

物事の切り替えに行く、 静寂の時間「凝念」^{ぎょうねん}

*「凝念」は、成蹊学園創立者
中村春二先生が考案。

明星小学校で脈々と受け継がれる「凝念」は、心のはたらきを一点に集め、静寂の中で精神を整えるもので、主に授業のはじまりとおわりに行います。目を閉じ、姿勢を正し、自分と向き合うこの瞬間は、物事の切り替えに意識を集中し、心を整えると同時に、新たな行動への力を養います。明星学苑の伝統に根ざしたこの取り組みは、学びを深く豊かにし、個を育てるため、現在も教育の柱として大切に実践されています。

心を整える習慣づくり



創立当初から受け継がれる凝念



授業や全校集会で、現在も変わらず行う凝念

明星の伝統

感動の数で、心を育てる 「体験教育」

開学当初より、「学習は、単なる記憶のみにとどまらず、森羅万象をよく見ききし、総合的によく考え、判断し、ことばと行動にあらわす実践創造の『正しい学び』」を進めてきました。豊かな思考、豊かな発想、豊かな人との関わり、豊かな自然。明星小学校の生活の中には、子どもたちの可能性を最大限に伸ばす体験が凝縮されています。豊かな環境の中で得た数々の感動は、子どもたちを輝かせ、豊かな心を育てていきます。

豊かな人間形成



昭和の時代のスキー学校（黒姫山荘）

「手塩にかける教育」を受け継ぐ

子どもたちは、新しいことに挑戦する中で自分自身の可能性に気づき、知的好奇心を広げていきます。その成長を支えるために、私たち教員も毎日努力を続けています。保護者の方々に「この学校に入ってよかった。素敵な先生に出会えたから」と言っていたように、教員たちは日々研鑽を重ね、指導力を高めています。



学内、学外、他校交流で、授業の質を磨き続ける

教員は、子どもたちが生き生きと学ぶ授業を目指して「授業力」を磨いています。本校では、授業力のある教員や、文部科学省で教育課程に携わってきた専門家の教員が指導教諭となり、教材研究や授業づくりについて助言・指導を行っています。また、教員同士で意見を交わす「校内授業研究」(月1回)、教員自身が算数の楽しさを味わい授業力を向上させるために、他校の先生方にも参観していただく「明星算数講座」(年3回)を実施しています。

チーム明星の教師力



授業者と参観者で意見交換を行う協議会



多くの教員に見守られる中で行われる研究授業



互いの授業を客観的に見合い、授業後に意見交換を行います

最先端の教育技術と研究で、メディア掲載や評価を受ける

発信力を持って活動している先生が多く在籍しています。自ら発信できる教員であり続けるために、積極的に外からの評価を受け、常に最先端の教育技術を身につける。真の教師力を持った教員を育てる土壌を学校全体で大切にしています。一方で、教員に求められるのは専門性や発信力だけではありません。人がつくる場だからこそ、人間性も大切にしています。本校では授業力と人間力の両面を磨き、子どもたちの成長を支えています。

研究・発信力

メディア掲載

朝日新聞教育面の連載「花まる先生 公開授業」で紹介されました。



副校長 夏坂哲志
前筑波大学附属小学校副校長



算数科教諭 平井哲
明星大学非常勤講師



算数科教諭 河合智史
全国算数授業研究会幹事



英語科教諭 荒井和枝
英語教科書編集者

著書



体育科教諭 夏刈崇嗣
筑波学校体育研究会理事/
東初協学級経営部会運営委員
著書に「小学1年生担任のための体育活動アイデア」「小学1年生の体育授業」等がある。

連載



体育科教諭 風間啓介
東京私立初等学校協会 体育研究部主任
小学校教員のための教育情報メディア
「みんなの教育技術」で連載を執筆。

担任+αで支える、きめ細やかな指導

教科担任制を導入しています。英語、図工、音楽、家庭科のほか、国語、体育、算数なども学級担任や専科教員が分担し、それぞれ専門性を活かした教員が指導します。この仕組みにより、一層深く充実した授業が可能になるだけでなく、複数の教員が学年全体の子どもたちを見守ることで、きめ細やかな支援が実現します。多様な視点から子どもたちをサポートし、学びの質を高める体制を整えています。

教科担任制



算数



体育



国語

タブレットを日常的に活用し、広がる学びと表現力

ICT教育を積極的に取り入れています。低学年から、学びの補助ツールとしてタブレットを使用し、授業でも積極的に活用します。2年生からは個人所有のタブレットを使用し、例えば算数では全員の解答を集約しモニターに表示して比較・考察したり、個人では情報検索やプレゼンテーション資料作成に活用したりします。これにより、子どもたちは自己表現力を高めるとともに、問題解決力を身につけています。

ICT環境



アイデア共有にタブレットを活用したグループ学習



自作した資料でプレゼンテーション

小さな成功体験を 積み重ねる学びの機会

なわ跳び・書き初め・英語・漢字など多様な検定に1年生から挑戦します。なわ跳びは、7のつく日に検定が行われ、2月には記録会も実施します。英検は、5年生が授業内で4・5級を受験し、過去問題にも取り組みます。漢字検定は全学年で受験し、2024年には全校児童の合格率の高さが評価され、全国上位50校に贈られる「奨励賞」を受賞しました。日々の積み重ねが、確かな成果につながっています。

コンテスト・検定

英検1級合格・ 全国トップの成績で表彰

本校6年生のS.A.さんが、英検の成績優秀者として「みらい創造賞」と、全受検者から選ばれる名誉ある「特別賞」を同時受賞しました。小学生で英検1級を取得し、5級から1級まで全取得者の中で全国トップという快挙です。努力の成果が全校の励みとなっています。



なわ跳び記録会の実施

記録会では、毎年「二回旋跳び」で200回以上を跳ぶ児童がいます。今年も高い記録を目指して多くの児童が挑戦する中、A.K.さんが200回超えを達成しました。



6年間で合計10泊。 宿泊行事で育つ、心の自立

出発のバスで保護者が見えなくなるまで泣きながら手を振っていた1年生も、学年が進むにつれ、自ら計画し、仲間と協力し、友だちを支える姿勢が育っていきます。家庭を離れた環境の中で、時間を守ること、身の回りを整えること、仲間の気持ちに気づくことを一つひとつ経験していきます。宿泊学習は、責任感や自己管理能力を養う大切な時間であり、成功も失敗も共有する体験が、子どもたちの確かな自信と次への意欲を育てていきます。

宿泊学習

- 1年：きよさとの教室(八ヶ岳)
- 2年：緑の教室(八ヶ岳)
- 3年：海辺の教室(房総半島)
- 4年：秋の学校(富士山周辺)
- 5年：山の学校(飛騨高山・白川郷)
- 6年：修学旅行(京都、奈良)



保護者を前に、成長した姿で帰着の挨拶をする2年生



3年生。千葉・鴨川方面へ1泊2日の海辺の教室。いその観察では、たくさんの発見があります



6年生。京都・奈良方面へ3泊4日の修学旅行。世界遺産の名所や歴史ある施設を事前に調べ、グループでの行動も。計画する力、主体的に行動する力を育みます

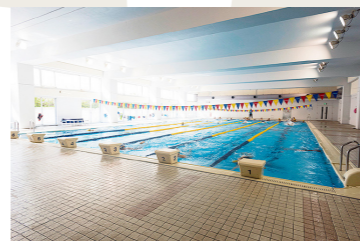
自然豊かなキャンパスで 深まる学び

明星小学校がある府中キャンパスは、幼稚園から高校までが併設された広大なキャンパスです。約900本の樹木が茂る森は植物の宝庫。広い敷地内に畑や田んぼがあり、自然観察、体験的な活動ができるのも魅力です。また、水泳の授業が行われる「屋内プール」や式典行事のほか発表会も行える「ホール(講堂)」など、学びと成長を支える充実した施設設備を備えています。

施設・キャンパス



校庭 | 緑豊かな全面人工芝のグラウンド



総合体育館(屋内プール) | 身長に合わせて床の高さが調節できる工夫が施されています



児玉九十記念講堂 | 約1200人を収容するホールで、入学式をはじめとする式典や行事に使用されています

約7割の児童が利用する 成長と味覚を考慮したお弁当

ご家庭の手作り弁当に加え、「給食弁当注文システム」を利用して、安心・安全でおいしいお弁当をご注文いただけます。成長期の子どもの健康と味覚形成を考慮し、元学校栄養士が栄養バランスの取れた献立を作成。化学調味料を使わず、出汁やタレも手作りし、味・食感・鮮度にこだわったお弁当を提供しています。忙しいご家庭も手軽に利用でき、子どもたちの健やかな成長をサポートします。

給食お弁当

【注文制】



「献立」と「食育メモ」を添えてお届け



・前日の17時までネット注文・変更可 ・クレジットカードでのお支払い可

18時まで開室し、習い事も可 年間約230日オープン

放課後預かり「明星っ子クラブ」を構内に併設しています。クラブルームには、学習スペースのほか、充実した図書環境やデスクトップ型のパソコンを設置。希望制で習い事も実施しています。決められたことをして過ごすのではなく、子どもたち一人ひとりが放課後の過ごし方をデザインし、自律を育みます。放課後や長期休業中も、家庭的な役割を持った生活の場を提供しています。



クラブルーム内の知育玩具で自由に遊ぶ児童



プログラミング教室

アフタースクール

〔申込制〕

- ・実施日
学校就業日の放課後(年間230日程度開室)
月～金曜日の授業終了後～18時
- ・春季、夏季、冬季休業中の預かり時間
8時～18時
- ・習い事(別途、費用がかかります)
硬筆習字、ダンス教室、そろばん教室、プログラミング教室

主要駅から急行バスを運行 災害やセキュリティ対策も

JR/西武線・国分寺駅と京王線・府中駅からはノンストップ急行バスが運行しています。学苑の三つの門には警備員が常駐し、学内に設置した監視カメラが児童を見守ります。また、災害に関する心構えを指導すると同時に、万一の災害を想定した避難訓練を学期ごとに欠かさず行っています。日々、安全に乗車するための注意点や正しい乗車マナーについて学ぶ「バスマナー教室」も行っています。

安全・通学



登下校時の児童の見守り



ご家庭との連絡に 便利な「れんらくアプリ」

登下校情報だけでなく、災害時や臨時休校などの情報、学校からのプリントもれんらくアプリを使って配信しています。

明星小学校での一日



登校 | 7:50～8:25



朝の会 | 8:25～8:30



1・2時間目 | 8:35～9:20、9:30～10:15



中休み(ほのほの) | 10:15～10:30



3・4時間目 | 10:35～11:20、11:30～12:15



昼休み | 12:15～12:50



全校タイム | 12:55～13:10



5・6時間目 | 13:15～14:00、14:10～14:55



クラブ、委員会、ゼミ探究



下校

クラブ活動

クラブ活動は4年生から始まります。協力し合ってひとつの活動に取り組む中で、学年を超えたつながりが生まれ、責任感や積極性も自然に育まれていきます。



一輪車クラブ



科学実験クラブ



スポーツダーツクラブ

特別編成

吹奏楽団は、放課後に行われる特別編成の活動です。発表会では、明星中学校・高等学校や明星大学と合同で演奏することもあり、一貫校ならではの活動です。



明星学苑吹奏楽団

総合学園の中の明星小学校

明星学苑は、幼稚園から大学までを有し1万5千人以上が学ぶ総合学園です。明星小学校から明星中学校・高等学校への入学には「学内進学試験」があり、毎年7割前後の児童が進学しています。

明星幼稚園

子どもたちの「やってみたい!」という気持ちを大切にしながら、遊びの中で学び、知的好奇心・探究心・人間性を育む環境づくりを行っている。



明星小学校



明星中学校・高等学校

「目に見える学力」と「目に見えない学力」を融合した6年間の多彩な教育で、グローバルな時代に羽ばたくための「活躍力」を伸ばします。

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
|----|----|----|----|----|----|

特別選抜クラス

基礎学力の養成と国際色豊かな体験教育により、国際社会で活躍できる資質を育てる。

特進クラス

通常カリキュラムに加え、難関大学入試に対応した高度な学習内容を提供。

進学クラス

学校生活を充実させながら、基礎学力の確かな定着を図り、志望大学合格を目指す。

明星 Institution中等教育部

6年間の完全中高一貫コースで、東大・京大といった最難関国立大学や海外大学を目指す。

| | | |
|------------------------|---------------------------|----------------------|
| 自分自身の基盤をつくる [1年・2年] | アイデンティティを確立させる [3年・4年] | 未来の自分を考える [5年・6年] |
|------------------------|---------------------------|----------------------|

大学進学

最難関国立大学
最難関私立大学

国立大学
難関私立大学

明星大学
私立大学

海外大学
最難関国立大学

府中キャンパス



【明星中学校・高等学校】

- 1 校舎
- 2 総合体育館
- 3 第2体育館
- 4 部室棟
- 5 至誠館(武道館)
- 6 グラウンド
- 7 テニスコート

【明星小学校】

- 8 校舎
- 9 グラウンド
- 10 学校園
- 11 鳥小屋
- 12 ヒートアップ

【明星幼稚園】

- 13 園舎
- 14 園庭
- 15 プール
- 16 リーフ広場(預かり保育棟)

【学苑施設】

- 17 児玉九十記念講堂
- 18 旧学苑本部棟
- 19 いこいの広場
- 20 記念館
- 21 正門警備室
- 22 北門警備室
- 23 南門警備室

進学


明星中学校・高等学校では進路目標に応じたクラスがあり、近年では国立大学・難関私立大学への進学者数も増えています。

難関私立・国立大学 合格者数 -----140名以上
医学部 合格者数 -----4名
*2024年度実績

幼稚園

英語あそび


年中・年長では、週に1回、ネイティブの先生と英語でコミュニケーションを取りながら表現することを楽しみます。



幼稚園

数量・図形・文字体験


小学校の先生による数あそび教室などを開催。並べる・数える・比べる・組み合わせるなどの体験を通して、数や図形の楽しさを味わいます。



中学校

習熟度別クラス(英語・数学)


中学1年生では英語と数学で習熟度別の授業を行います。個人の資質にあったレベルの授業を行うことで、一人ひとりの特性を伸ばすことができます。



中学校 高等学校

大学との連携でSTEAM教育

東京薬科大学、麻布大学等と連携協定を締結し、生徒たちがSTEAMへの興味関心を醸成する機会を設けています。



高等学校

ボストンリーダーシッププログラム

高校1年生の希望者は、ボストンでの海外研修に参加できます。MIT、コロンビア大学、ハーバード大学などキャンパスツアーも実施。世界最高峰の大学を見学します。



高等学校

外部検定受験対策も万全

高校3年生では、志望校や検定試験に応じた対策講座を英語ネイティブ教員とともに提供しています。英検の得点アップのサポートも。



校種間交流



小学校 × 幼稚園

明星幼稚園の園児と小学校の児童が、ゲームや歌う活動などを一緒に行います。園児とふれあう中で年下の子どもへの気遣いや思いやりを学び、他者のために活動することの大切さに気づくよい機会となっています。



小学校 × 中学校・高等学校 × 大学

世界各国から集まった国際ボランティアに加え、明星大学の学生と明星中学校・高等学校の生徒がチームになって教える英語プログラム「明星サマースクール」。希望する小学生を対象に夏休みに開講されます。



小学校 × 大学

府中校で開催された明星祭に明星大学の学生が参加し、ダンスや演奏などのパフォーマンスを披露しました。お兄さん・お姉さんとの交流を通して、子どもたちは表現する楽しさや、将来への憧れを自然と育んでいます。

Interviews

昔も今も、 子どもに寄り添う 明星の先生たち

N.I.さん [明星小学校2年生]
保護者

明星小学校を選んだのは、私自身が卒業生で、昔から先生方が子ども一人ひとりに丁寧に向き合ってください学校だと感じていたからです。見学の際にも、その姿勢は変わらず、子どもの小さな動きや表情に目を配り、声をかけてくださる様子が印象的でした。入学後は、そうした良さに加え、子どもの成長やつまづきに、きめ細かく寄り添ってくださっていると感じています。長く大切にされてき



た教師力が、時代に合わせてさらに磨かれていることこそ、明星の大きな魅力だと思います。(保護者) — 授業では、手を挙げて発言すると、先生や友だちがほめてくれたり、やさしく受け止めてくれるのがうれしいです。上級生のお姉さんに教えてもらった経験から、私も周りの人を思いやれるお姉さんになりたいと思っています。(N.I.)

自ら考えて行動する、 実践の精神が活かされています。

鈴木庸太さん
[2012年3月卒業 / デジタル庁勤務]

小学校から高校まで明星学苑で学び、身についたことは、「まずはやってみよう」と率先して行動する姿勢でした。小学校では体験を通して総合的に学ぶ「くぬぎの時間」があり、そこで好奇心を持って取り組んできたことが、今の僕の土台を育んでくれたと思います。のびのびと自主性や個性を育てられる環境は、その後の中学、高校でも続き、色々とある選択肢の中から自ら選び、能動的に興



味を追究し続けることができました。まずは行動に移し、やってみてできないなら、できるようにする方法を考える。このマインドセットは、今の仕事にも活かされていると思います。明星小学校の卒業生は、ユニークな生き方をしている人がたくさんいます。そんな彼らと今も交流を持ち、お互いの個性を尊重しながら活躍を応援し合えることが、僕の誇りとなっています。

良識ある心と向上心を、 手塩にかけて育ててくれました。

河西勇樹さん
[2012年3月卒業 / 医師]

小学生の頃、落ち着きがなかった僕に、粘り強く向き合ってください先生方には今も本当に感謝しています。きちんと叱るだけでなく、僕のことを思って親を含めた交換日記も毎日続けてくださいました。そこで自分の言動を振り返り、叱られた理由を考えるうちに、「自分で気づいて変わらなきゃ」と思えるようになりました。授業で毎回行われる凝念もとてもいい習慣だったと思います。目を閉



じて心を落ち着かせる数十秒間が終わると、ざわざわしていた教室が静かになり、自然と授業に集中できる状態になりました。また、授業では「もっと色々な問題を解いてみたい」という好奇心を後押ししてくれる体制があり、得意な算数がますます好きになりました。自分をコントロールしながら、思いきりチャレンジできたからこそ、今の自分があると感じています。

制服

創立からの伝統を受け継ぐ上品なデザイン。動きやすさにも配慮され、活発に活動する小学生に最適な設計です。



通学リュック
1年生から黒色の校章入り通学リュックを使用しています。

冬服

10月下旬から4月末まで着用。
男女共に濃紺サージの落ち着いた装いです。



夏服

5月から10月下旬まで着用。男子は霜降ズボンに白の開襟シャツ、女子はブラウスに吊りスカート。



運動着

赤い星のロゴマークがアクセントの運動着は半袖と長袖があり、男女共通です。



校内着

登校すると、黄色いポロシャツに、男子は半ズボン、女子はキュロットスカートの校内着に着替えます。

メッセージ

子どもたち一人ひとりと出会う日を、先生たちは心から楽しみにしています。

たのしい えんそく や
しゅくはく がくしゅう が
まっているよ!

山下彩乃 [国語科教諭]



がっこうのはたけで
おいしいおいもをつくりましょう?

河野典子 [国語科教諭]

うたって、きいて、えんそくして...
いっしょにおんがくたのしもう!

大森瑠依 [音楽科教諭]



①かやく ②しく ③なびあう
めいせいしょうがっこうで
まっています!

齋藤安則 [社会科教諭]

たのしいらねんかん
にしましょう。

鳥海武尊 [算数科教諭]



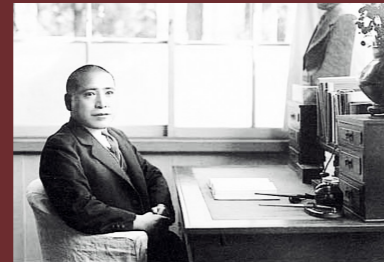
100年の歴史を越えて、 学ぶ人と時代にふさわしい 教育を常に追い求める

明星学苑は1923年に「明星実務学校」として多摩の地に誕生しました。創立時に30人の生徒で始まった学校は、時代の波に揉まれ様々な困難が生じた中でもそれを乗り越えて存続し現在では、幼稚園から大学まで1万5千人以上が学ぶ総合学園に成長しました。

そして、2023年の創立100周年を機に、その先の100年、これからの新たな時代に向けて、明星学苑はさらなる持続的な発展を期して歩み出しました。これからも変化し続ける社会の中で、子どもたちの個性と創造力を最大限に引き出す教育を実践していきます。



開校当初の校舎



明星学苑 創設者 児五十九先生

明星学苑の建学の精神とビジョン

建学の精神

- 和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する

ビジョン

- 自ら変革し続け、新たな時代、新たな世界を謳歌する人間性あふれる卒業生を輩出する学苑

明星学苑の教育方針

- 人格接触による手塩にかける教育
- 凝念を通じて心の力を鍛える教育
- 実践躬行の体験教育

校訓

健康・真面目・努力

明星学苑と 明星小学校の歴史



明星小学校

設立：1950年

校長：細水保宏

児童数：628名[男子309名、女子319名] *2025年5月現在

学級編成：1学年35名×3クラス

登校時間：8時25分

東京都府中市栄町1-1 | 042-368-5119

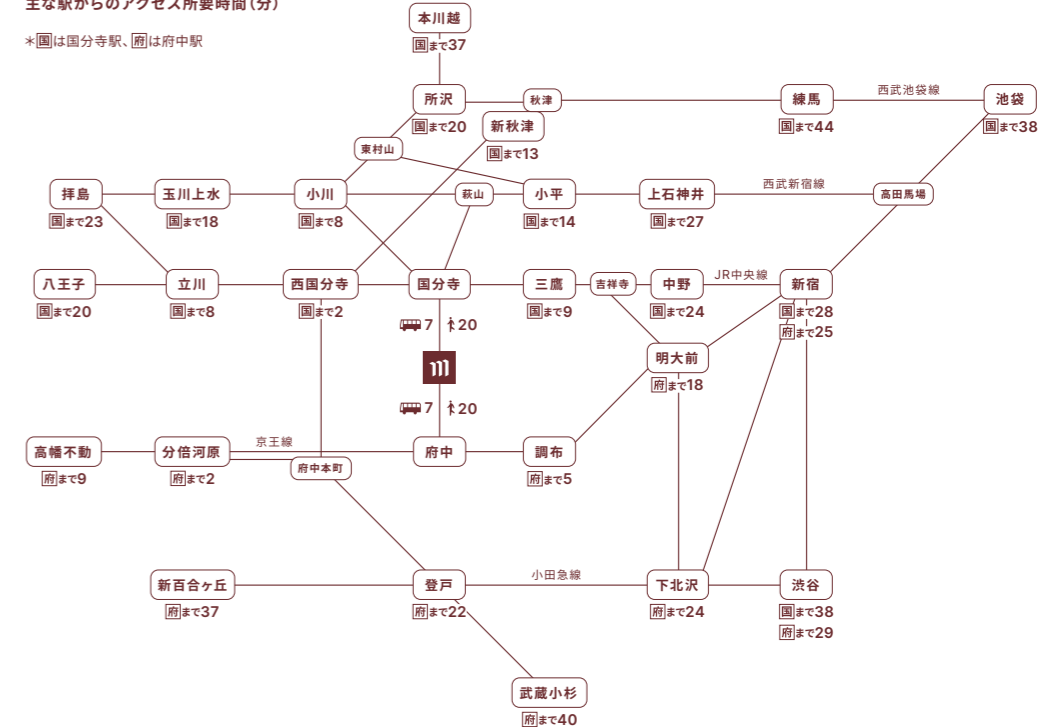
アクセス：JR中央線・西武線『国分寺駅』よりバスで約7分

京王線『府中駅』よりバスで約7分



主な駅からのアクセス所要時間(分)

*国は国分寺駅、附は府中駅



明星小学校の教育目標とビジョン

教育目標

- 「賢さ」と「豊かさ」を兼ね備えた、輝きをもった人の育成

ビジョン

- 自ら問いかけ、考え、行動し、自己表現できる人を育む学校
- 知的的好奇心と探究心、論理的思考力をもった人を育む学校
- 共生・共創できる、心豊かな人を育む学校

